

巻頭特集 過去の事例に学んで 老後の不安を解消!

条件に合う住まいを探すために 施設選びの決め手を大解説

目次

巻頭特集

条件に合う住まいを探すために 施設選びの決め手を大解説 4

1都3県 使える! 見つかる!

2191件とつながるリスト

掲載情報の見方 9

東京都23区 10

東京都市部 21

神奈川県川崎市 28

神奈川県横浜市 31

神奈川県相模原市 36

神奈川県市部 37

千葉県千葉市 44

千葉県市部 46

埼玉県さいたま市 51

埼玉県市部 55

プライバシーポリシー 62

ご相談からご入居までの流れ 63

入居相談FAX送信票 64

相談員のひとりごと 67

チェック!

介護にいくらかけられる?

入居予算試算表 68

ご存じですか?

介護施設の種類と特徴 70

介護施設への暮らし替えは、誰にとってもひとごとではない重大事です。ひとつの決断が、その後の人生を左右するといっても過言ではありません。だからこそ、あとになって後悔しないように、希望する条件に合った施設を慎重に見極めなければなりません。今回は、過去のケースを取り上げて、考え方のヒントをご紹介します。

PROFILE



樋口 国陽

ひぐち くにきよ

(株)シニアサポート代表

長年にわたって数多くの相談者に最適な介護施設を紹介してきた、介護施設選びのエキスパート。自治体や企業向けの講演会も数多く行う。

実際にあったご相談事例を紹介します。

おかげさまで、私ども「ホームあしすと入居相談室」は、開設してから今年で満10年を迎えます。思い返せば、これまでに数えきれないほど多くの方々からご相談をいただき、介護施設を探すお手伝いをさせていただきました。

今号の巻頭特集では、今までにご相談いただいた事例の中から4件を取り上げて詳しくご紹介いたします。過去の事例を参照することで、いま介護施設を探しておられる皆さまにとって、何かしらヒントとしていただければ幸いです。

ケース1

家族の近くで、活動的に過ごせる施設に入りたい



世田谷区A様 / 77歳・女性・自立 予算：入居時4000万円、月額30万円

ご主人を亡くされたA様からのご相談は、ご子息のお住まいから近い施設に住み替えたいという内容でした。A様のようにお元気で自立して生活できる方が施設入居をする場合、施設周辺の環境や、他のご入居者の健康状態など、多くのご希望を満たす施設を探すのが大変です。ご本人の希望に添って、自立度の高い方向けのサービス付き高齢者向け住宅を中心に5か所ほどご案内しましたが、なかなか気に入った施設がありませんでした。どうやら、ご子息の住まいからの距離がネックとなり、決めあぐねていたようです。

そんなとき、ご希望の地域の近くで1年後に自立型の高齢者向け老人ホームが新設されるという情報が入りました。その施設は駅や百貨店から近くて利便性が高く、A様のご希望にぴったりでした。施設

の高層階は自立の方向けの高齢者マンションで、お元気な入居者がのびのび自由に暮らすのに最適、中～低層階は住宅型の老人ホームになっていて、もしも要介護になっても、見取りまで手厚く支えてもらえる施設だと説明しました。A様は迷っておられましたが「希望の地域に新しいサービス付き高齢者向け住宅ができたので、そちらに転居する」と後日ご報告をいただきました。それは何よりと安心しておりましたが、半年後に再度ご連絡があり、例の新しい施設はまだ空いているかとお問い合わせいただきました。どうやら、慌てて入居した施設は期待したよりも居心地がよくなかったようです。その後A様は、はじめにご紹介した老人ホームに転居されることに。紆余曲折がありましたが、ようやくご希望に合った施設へご入居になりました。

相談員からひとこと

最初のご相談から入居に至るまで、2年以上かかりました。最終的には、条件に合う施設を見つけることができて何よりでしたが、少し遠回りをしてしまっ

たようにも思われます。当初のご希望であった「ご家族から近い」「活動的に暮らせる」という、譲れない条件を第一に考えることが決め手となりました。

ケース2

健康状態の違う夫婦
いっしょに入居できる
施設を探したい



神奈川県川崎市B様ご夫妻／夫88歳・支援1／妻85歳・要介護2
予算：入居時500万円、月額40万円

ご夫婦ふたりとも80歳を過ぎて、健康面で不安を感じられているB様からのご要望は「夫婦で入居できる施設を探してほしい」というものでした。

はじめは、ご主人より電話でお問い合わせいただき、介護施設の種類など、基本的な質問にご回答差し上げました。電話越しでの説明には限界があるので、さらに詳しくお話しするために翌週、ご自宅へお伺いすることになりました。ご夫婦おふたりともご高齢ということもあって、この日は長女様ご夫妻にも同席いただくことをお願いしました。老いた両親の暮らし替えは、ご家族全員にとって重大事です。ご本人様の独断で結論を出しては、とてもよい結果は望めません。後になって揉めたりしないためにも、早い段階からご家族いっしょに話し合うことが大切です。

ご夫婦のご希望や、健康状態について質問したうえで「介護付き有料老人ホームと住宅型有料老人ホームの違い」「サービス付き高齢者向け住宅について」など詳しく説明しました。その次に、具体的な施設名を挙げて、ご夫婦いっしょに入居できるプランをご提案いたしました。

長年相談員を務めてきた私の経験から言うと、ご夫婦いっしょに施設入居する場合でも、それぞれ別の部屋に入居するか、少なくとも寝室だけは分けた方がよいように思います。というのは、おふたりで同じ部屋に入居したとして、将来どちらか一方が重

い介護が必要になった場合、お元気な方への負担が大きくなるのが避けられないからです。特に、夜間の介護が必要になった場合に、物音で起こされたりすることが多くなります。将来の状況変化も考慮したうえで、そうした負担がないほうがより快適に生活することができます。

ただし、ご夫婦のうち要介護度の高い方が、比較のお元気なおひと方へ強く依存しているような場合は、逆にご夫婦で同室に入居することをお勧めすることもあります。頼りにしている相手が側にいないと、不安感が増して心穏やかに暮らすことができないためです。こうした場合は、ひとつの部屋で夫婦いっしょに生活にすることで不安な要素を取り除けることもあります。

B様ご夫婦の場合、認知症を患う奥様の方がより相手への依存心が強いように見受けられました。ご主人の姿が見えないと、パニックに陥って大きな声を上げてしまうこともあると伺いましたので、おふたりいっしょに入居できる広い居室を持つ老人ホームをご提案しました。

後日、B様ご夫婦とご家族もいっしょに、ご提案さし上げた施設の見学に向かいました。その結果、ご予算より月額費用は数万円高いものの、入居金が半分ほど安い介護付有料老人ホームにご入居が決まりました。

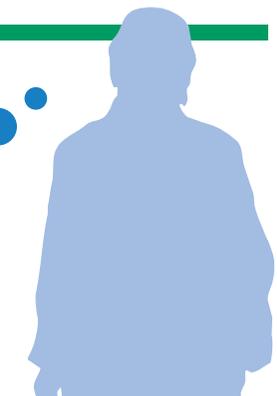
身の施設入居を考える場合でも、早い段階でご家族に相談することが大切です。施設を見学する際にはご家族にも同行いただくのがおすすめです。

○相談員からひとこと

ご夫婦いっしょに施設入居する場合、双方の健康状態や関係性によって、同室と別室のどちらがより望ましいか判断が分かれるところです。また、ご自

ケース3

医療とリハビリが手厚くて
家族から近い施設に
入居したい



江戸川区C様／女性83歳・要介護3
予算：入居時1500万円、月額25万円

入院中のC様について、ソーシャルワーカー様よりご相談いただきました。既にご主人を亡くされたC様には子どもがなく、神奈川県にお住まいの甥御様が一番近い親類です。ご本人は都内の自宅に戻りたいとご希望されていますが、脳梗塞で半身麻痺があり、おひとりでの暮らしは難しい状況でした。そこで甥御様とお会いして、退院後のC様の住まいについて相談しました。神奈川県の甥御様のご自宅に近い3か所の施設と、都内のC様のご自宅に近い3施設を見学いただきました。

検討の結果、同じ費用でより手厚い介護が受けら

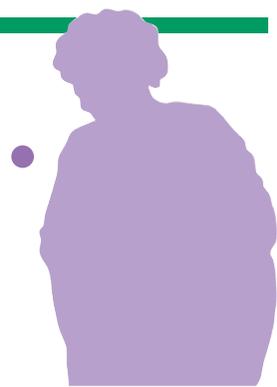
れるうえ、甥御様が伯母様に会いに訪れやすい神奈川県の施設へご入居が決められました。24時間看護師が常勤していて、機能訓練士がいることも大きな判断材料となりました。

○相談員からひとこと

やはり、ご家族が行きやすい施設の方がご本人にとってもよいのではないかと思います。また、一般的に都心から遠い施設の方が、同じ費用でもより手厚いサポートを受けることができる場合があります。

ケース4

高齢のひとり暮らしが
不安…。少ない予算で
入居したい



神奈川県大和市D様／女性81歳・要介護1
予算：入居時0円、月額20万円

ひとり暮らしだったD様は、お身体の具合が悪くなるにしたがい、深夜にたびたびご長男様へ寂しいと電話がくるようになったそうです。ご長男からの相談は、同年代といっしょに生活できる有料老人ホームへの住み替えについてでした。ご予算は月額20万円とのこと。雑費を考えると、支払い可能な月額利用料は15万円前後です。条件に合う2か所の施設を見学したところ、そのうち1件が気に入られたようでした。1年前に開設した新しい有料老人ホームで、月額利用料が予算より少し高く、毎月の総額が21～22万円程度となりましたが、ご本人様にも大変気に

入っていただきました。有料老人ホームは施設によって、いろいろなタイプが存在します。詳しくはご相談時や見学時に確認したうえで決めいただくのがよいと思います。

○相談員からひとこと

健康に不安がある方の場合、家族から離れてひとり暮らしを続けるには限界があります。近ごろでは入居金が必要ない施設も増えており、複数の選択肢からご予算に合ったものを選ぶことができます。

老後の住まい探しは十人十色 お一人おひとりに最適の選択があります！

さあ、いかがでしたか？ 実際に私どもの相談室に寄せられた4つのケースについて、施設入居までの経緯をご紹介します。どの相談内容も、ご希望される条件、予算、必要なサポートがそれぞれまったく違うことがお分かりいただけたことと思います。

当たり前ですが、個人によって健康状態、生活習慣、経済状況は大きく異なります。ですから、お一人おひとりに最適な介護施設も、また千差万別であるといえるでしょう。星の数ほどもある介護施設の中から、入居者様ご本人にぴったりの施設を見つけるのは、一見、途方もなく困難な作業のようにお感じになるかもしれません。

私どもの相談室でよくアドバイス差し上げるのは、まず施設を選ぶのに必要な条件を書き出して、その条件に優先順位をつけるということです。「家

族の家から近い」「医療サポートが充実している」「周辺に緑が多い」など、複数の条件を挙げたうえで、絶対に譲れない条件と、妥協しても構わない条件を整理することで、自然と選択肢を絞ることが可能です。もちろん、経済的に無理がないように将来の収支を確認しておくことも重要です。

また、介護施設について十分な知識を持つ専門家に相談するのもおすすめです。私ども「ホームあしすと入居相談室」では、経験豊富なベテラン相談員が皆さまのご希望をお伺いしたうえで、条件にぴったりの施設をご提案しております。資料の取り寄せ、ご予算に応じた試算、施設への見学同行、ご契約まで、しっかりとサポートいたします。施設入居について、ご不明な点やご要望がありましたら、なんなりとお申し付けください。

もしも迷ったときには… ホームあしすと 入居相談室

「ホームあしすと入居相談室」では、老後の住まい探しのご相談をお受けしております。介護業界を知り尽くしたプロの視点から、お一人おひとりに最適な施設を探し、親身になってご提案いたします。施設の見学、ご契約、アフターフォローまで、万全の体制であらゆるご相談にお応えいたします。

まずはお気軽にお電話ください

 **0422-22-1501**

営業時間 10:00~19:00 ●定休日/日曜・祝日*

*メッセージを残していただければ折り返しご連絡させていただきます。

プロの観点で
ご提案します

親身になって
万全サポート

相談費用は
いたしません



ホームあしすと



<http://senior-support.co.jp/>



●twitter & facebookも更新中!

●Webにて弊社バックナンバーを公開中!